

油の流出事故にご注意ください！

冬期間はホームタンクからポリタンクに小分けする際や配管の損傷・老朽化が原因で、灯油等の油類が漏れ出し、河川に流出する事故が増加します。

灯油等が河川へ流出すると、自然に分解されることはありません。そのため河川から取水している水道や農地への被害、川に住む生き物にも大きな影響を及ぼすことがあります。

また河川に流出した油の回収・処理には多額の費用がかかり、その**費用は油を流出させた原因者に負担していただく**こととなりますので、取り扱いにはご注意願います。
(オイルフェンスなどの材料費や人件費など合わせて数万円から数十万円程度。)

油を流出させてしまった際や油の流出を発見した場合は、消防署・警察署・市町村役場・国や県の機関へ速やかに通報してください。



ホームタンク利用時の注意ポイント

① 給油中はその場を離れないで下さい。
ちょっと目を離した際に溢れてしまいます。

② タンクの本体や足部分、配管の劣化・損傷にご注意下さい。



③ 除雪時は配管にご注意下さい。
損傷防止の為に配管に目印を立てておきましょう。



④ 屋根からの落雪にご注意下さい。

⑤ 防油堤の壁の亀裂や水抜き栓の締め忘れに、注意しましょう。

オイルフェンス設置訓練

10/31(木)に鶴岡市内の内川で、赤川出張所所管工事の請負者が組織する赤川安全衛生協議会によるオイルフェンス設置訓練が行われました。

オイルフェンスとは灯油等の油が河川に流出した際に油が下流に流れていくのを防止するものです。

訓練には出張所の職員と工事受注者が参加し、河川に油が流出したと想定し、オイルフェンスの組立て設置と、油を回収する手順等を再確認しました。



オイルフェンスの組立て



フェンスを川に設置

鶴岡地区安全講習会

11/6(水)に鶴岡地区安全講習会が行われました。

請負工事の安全施工と労働災害の未然防止のために実施しているもので、鶴岡地区で工事や業務を受注している企業や事務所職員49名が参加しました。

参加者は2つの工事現場で法令遵守や危険箇所がないかを点検した後、改善点などの討議を行ったほか、労働安全コンサルタントによる講話が行われました。

重大事故につながるような指摘はなかったものの、何点か改善の指摘があり、各現場とも速やかに対処されました。



現場点検の様子



班別討議の様子